

主な腸管感染症の特徴

特徴	腸管出血性大腸菌	サルモネラ	キャンピロバクター	黄色ブドウ球菌	腸炎ビブリオ	ノロウイルス
潜伏期	3～12日	12時間	3日(1～11日)	30分～8時間	2～36時間	2～3日
腹痛	2+	2+	+ (長期間続く)	2+ (上腹部)	2+	2+
発熱	±	2+ (4日間)	+ (3～7日間)	±	2+	± (38℃以下)
嘔吐	±	+	±	3+	2+	2+
下痢	水様便	黒緑色水様便	水様～泥状便	水様便	水様便	水様便
下痢の臭い			腐敗臭			酸臭
血便	+ 鮮血	+ 粘血便	+ 水様粘血便、WBC混入	+ 粘血便	+ 粘血便	-
原因食物	牛肉	鶏卵 肉 ミルク	鶏肉 (鳥牛豚の腸管常在)	折詰弁当 おにぎり 牛乳	魚介類	生牡蠣
病原因子	ベロ毒素	エンテロトキシン	細胞侵入	エンテロトキシン	耐熱性溶血毒	
二次感染	+	+	+	-	-	+
菌血症	+	+	+	-	+	
好発年齢	小児	小児	乳幼児、小児	乳幼児、老人	成人	小児
季節	夏季		5～6月、9～10月	5～10月	夏季	秋～冬
白血球数	↑	↑	↑ (好中球)		↑	↑ (好中球)
CRP		↑	↑ (赤沈亢進)		軽度↑	軽度↑
その他	少量の菌で感染+	菌量少ないため便を 必ず採取すること 保菌者になりやすい 細胞内寄生菌	肛門スワブで検査OK 便検体は10℃以下で保存 ギランハレー症候群併発+	毒素型食中毒 100℃30分でも耐える	心臓毒性+	2～7日排菌+